

## 賛助会員訪問記

### 東英工業株式会社 訪問

(ホームページ : <http://www.toeikogyo.co.jp/>)

平成 26 年 10 月 28 日 (火) 13 時 30 分～16 時 00 分、東英工業株式会社 (東京都町田市) を、高野良紀総務理事、押木満雅事務局長および杉村比登美事務局職員の三名で訪問した。磁性部有泉豊徳部長および営業部今井淳太氏に対応していただいた。

1949 年に通産省電気試験所の技術者が電気計測機器の製作、開発を目標に東京都千代田区に会社を設立し、32 年前にこの町田に本拠地を移し今日に至っている。レーザー技術と精密電気計測技術を保有しており、振動試料型磁力計 (VSM 型)、磁気異方性トルク計 (TRT 型)、直流自記磁束計 (TRF 型) およびパルス磁化測定装置 (TPM 型) など磁気計測分野に幅広い製品を開発し、製造、販売している。特に、計測、制御のノウハウ、技術開発力をベースに、従業員は 40 名と少数ではあるが技術集団の体をなしエレクトロニクスとコンピュータ応用の技術を生かして多様化する顧客のニーズにフレキシブルに答えている。VSM、TRF および TPM を揃って製造しているため、それぞれの測定結果の検証を社内で行える強みがある。また、日本工業規格 (JIS) 改訂や電子情報技術産業協会 (JEITA) などの公的活動にも積極的に参加し活動している、など有泉氏より説明をいただいた。技術的説明の中で、新規開発した高温超電導マグネットを用いた VSM や微細なホールプローブを使った走査型マイクロホールプローブ顕微鏡 (SHPM) など大変興味ある測定結果などを拝見する事が出来た。

次に、今井氏に工場を案内していただいた。工場は、こじんまりとしたスペースで幾つかの製品が組立て作業中であった。雰囲気はまるで大学の研究室の様であり、担当技術者がそれぞれの装置を手作りで仕上げている様子が見て取れた。その担当技術者が装置の細部まで熟知しているため開発、製造からメンテナンスまで行うとの説明があったが、実感を持って納得する事が出来た。

装置開発に時間がかかる、またその熟成にお金もかかる、がしかし、世界に役立ちたいと頑張っている、また今後は高周波領域の計測にも取り掛かってゆきたいなど、有泉氏の開発、磁気計測や製品について生き生きとして熱のこもった説明に時の経つのを忘れてしまうほどであった。

(押木 記)



東英工業本社工場



取材風景



デモ用装置